

## 第4章 連携と協働による推進

ユニバーサルデザイン社会を実現するためには、県民の日常生活をはじめ、経済活動や社会システムなどすべてにおいて、ユニバーサルデザインの考え方が浸透し、様々な営みに反映される必要があります。

この考え方は、結果だけでなく、目標に向かってより多くの人に参加し、できる限り良いものにしていこうとする過程や、その姿勢が重視されています。また、完成後も評価を行い、絶えず必要な改良を続けていくという継続性も大切です。

ユニバーサルデザインの取組を進めていくにあたっては、常にこれらのことを念頭に置き、県、市町、県民、事業者、民間団体などが自らの役割を認識したうえで、互いに連携、協働して、主体的、積極的に取り組み、県全体のこととして広げていくことが重要です。

### 1 県の役割

県は、「だれもが住みたくなる福祉滋賀のまちづくり条例※」を基本に福祉のまちづくりに取り組むほか、ユニバーサルデザインの考え方にに基づき、より広い施策について、各組織が連携して、率先して取組を進めます。

推進にあたっては、市町、県民、事業者、民間団体の理解と主体的な活動が欠かせないことから、様々な普及活動や取組を行うと同時に、意見、情報の交換の機会を設けてより多くの方々の意見を反映させていきます。

また、調査、研究などにより情報収集を行うとともに、広報やインターネットの活用、フォーラムの開催などを通じて、県民への情報提供に努めます。

さらに、学校教育をはじめとした様々な学習の場を通じて、ユニバーサルデザインの考え方を学ぶ機会を設けるとともに、研修会の開催などにより、様々な業種や職種の方を対象とする意識啓発に努めます。

国に対しては、様々な面からのユニバーサルデザインの推進について働きかけます。

取組の進捗については、「しがベンチマーク※」や「施策評価※」等を活用し、進行管理と評価を行います。

## 2 市町に期待される役割

市町は、住民の積極的な参画を得て、ユニバーサルデザインの考え方や、この指針の趣旨および内容を踏まえ、国や県、事業者、民間団体などと連携しながら、主体的、積極的にまちづくり、教育、交通などの様々な分野において施策を展開することが期待されます。

施策の推進にあたっては、ユニバーサルデザインの考え方を導入し、ユニバーサルデザインの推進に関する指針や、「交通バリアフリー法※」に基づく基本構想をはじめ、まちづくりに関する基本計画を策定することなどが期待されます。

また、住民にいろいろな機会や手段を通じて啓発を図ることや、学校教育をはじめとした様々な学習の場において理解を深める場を設けることなど、だれもがユニバーサルデザインについて知り、学ぶ機会を提供することが期待されます。

## 3 県民に期待される役割

ユニバーサルデザインの推進にあたって何より大切なことは、県民一人ひとりが、お互いの個性や違いを理解し尊重する意識、思いやりの心を持つことです。このため、子どもときから、それぞれの家庭や地域において、いつも相手の立場に立って考える気持ちを育てることが必要です。

こうした心を持つことによって、高齢者や障害者等の行動の妨げとなることを行わないことはもとより、困っている人に積極的に手を差し伸べることなどを当然のこととして行うようになることが期待されます。

また、効果的に推進するには、県民がユニバーサルデザインの考え方に対する理解を深め、行政や事業者、民間団体などが行う推進の取組に協力すること、行政や事業者、民間団体などに対して、問題点や改善点について積極的に意見、提言を行うことや、取組を評価、支持することが重要です。

このため、県民一人ひとりが自ら、施設、製品、サービスなどの使いやすさを点検することにより、暮らしの中にユニバーサルデザインの視点を取り入れ、身近なことから主体的に行動していくことが期待されます。

また、ユニバーサルデザインを推進するNPO※やボランティア活動に参加することなど、積極的に活動の輪を広げていくことが期待されます。

## 4 事業者に期待される役割

事業者は、利用者の視点に立った、ユニバーサルデザインの考え方に基づく施設整備、製品開発、サービスの提供などに積極的に取り組むことが期待されます。そのためには、事業所内、業界内でのユニバーサルデザインの考え方の普及啓発、リーダーの育成など、考え方の浸透と具体的な取組を進めることも期待されます。

事業にあたっては、企画立案の段階から、またできあがった後も、できるだけ多くの利用者から意見を聴き、反映させるという仕組みづくりを進めることが期待されます。

さらに、利用者、他の事業者、民間団体、大学、行政などと交流、連携して、ユニバーサルデザイン推進に関する民間活動の中心的な役割を果たしていくことが期待されます。

## 5 民間団体に期待される役割

様々な分野で市民が自発的に社会貢献活動などを行うNPO※などの民間団体は、県民のニーズが多様化、高度化する現在にあって、ユニバーサルデザイン社会を支える重要な担い手です。民間団体には、ユニバーサルデザインの普及、行政や事業者、他の民間団体などとの連携、ネットワーク化など、ユニバーサルデザインを推進するためのより積極的な活動が期待されます。

また、民間団体の立場から、行政や事業者などの取組に対して積極的に協力すること、よりよい取組への提案を行うこと、また自ら実践することが期待されます。



(民間団体による、障害のある人もない人もともに地域で生活を楽しむための取組)